

ネギ(夏扇パワー・夏扇4号)



→作業に励む今野さん



○き	○水	○ね	経営規模
ゃ	稲	ぎ	
べ	…3	…70	
つ	…0	…a	
…	40		
…	a		



今野 良毅さん

(能代市浅内字成合下)

**規格・指導通りのねぎ栽培
買う側に立ったねぎを生産**

顕彰者として表彰

平成26年から28年まで、種苗交換会の農産物展示「ネギ」部門において、1等賞(秋田県知事賞)を3年連続で受賞し、平成27年には最高賞の農林水産大臣賞にも輝いている今野良毅さんは、今回の種苗交換会でその功績を称えられ、

顕彰者として表彰されました。

ねぎを栽培して今年で19年目を迎える今野さん。定年前までは会社勤めをしながら、家業の農家を手伝い、定年後に専業農家としてスタートを切りました。現在は、ねぎ、水稲、きゃべつの複合経営を営んでいます。

高品質のねぎ栽培

「品質がいい」と言われるのが本当にうれしいと今野さんは話します。ねぎの栽培では、病害虫防除の徹底や圃場の巡回など自分ができることは必ずやるように心がけ、これまで培った経験と知識を糧に作業に精を出しています。また、疑問があった場合も一人で解決しようとはせず、営農指導員から情報をもらうなどして高品質な『白神ねぎ』を栽培しています。

感謝の気持ちを忘れず

栽培に取り組む

種苗交換会に出品した作品は、毎回受賞する今野さんの『白神ねぎ』。今野さんは「3等賞までに入っていれば出来の良い品質だ

と思っています」と話します。今回、顕彰を受けて「3年連続1等賞を取るのには本当に大変なものだと感じた。この賞を受賞できたのも、ねぎ部会員同士の情報交換や励まし、そして営農指導員の指導があったからこそだと思っています」と感想を話してくれました。

今後について今野さんは「JAの規格・指導通りの『白神ねぎ』を生産するのが私たちの役目だと思っています。営農指導員も一生懸命指導や情報を与えてくれます。販売課でも私たちの『白神ねぎ』を売るために努力してくれています。その頑張りに応えるためにも今後も栽培の手を抜かず、市場から逆に注文されるような品質を目指していきたいと思えます」と力強く話してくれました。



→3年連続1等賞を獲得した白神ねぎ